土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名	県立広島大学三原キャンパス　斜面補強事業に伴う業務委託
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	道路　地すべり・斜面崩壊

ボーリング名	BorNo.3	調査位置	三原市学園町　地内(NO.6+0.95 R=5.39m)	北緯	34° 23' 31.1180"
発注機関	広島県東部建設事務所　三原支所	調査期間	令和元年10月24日～ 令和元年10月26日	東経	133° 03' 21.0935"
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 14.43m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	0°北 0° 270° 90° 西 東 180° 南
総削孔長	6.00m	地盤勾配	47° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦地下工機　D1-C58型
				エンジン	ヤンマー　NS130型
				ポンプ	東邦地下工機　BG-3C型

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	現場土質名(模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
1	12.93	1.50		礫混りシルト質砂		茶褐	rd2		表土・擁壁施工時の埋め戻し土含む φ10mm前後の礫が混じり、細粒分を含む 砂は細～中砂主体	
2				粘板岩		淡灰			粘板岩の風化土 原岩組織を残すも風化著しく礫混じり砂質土状となる。	
3	11.43	3.00								
4				風化粘板岩		黒褐			風化粘板岩 土丹状コアとして採取される。 花崗岩が割れ目沿いに貫入しているのが認められる。 深度5.3m以深は、比較的硬質となる。 軟岩Ⅰ. 岩級DH～（CL）	
5										
6	8.43	6.00								10/26 6.00
7										
8										
9										
10										
11										

標準貫入試験

深度―N値図（0 10 20 30 40 50 60）

深度(m)	N値	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
1.15	10	2	3	5	10/300		
1.45							
2.15	29	10	9	10	29/300		
2.45							
3.15	50以上	17	16	17/90	50/290	290	
3.44							
4.05	50以上	26	24/70		50/170	170	
4.22							
5.00	50以上	50			50/100	100	
5.10							
6.00	50以上	貫入不能			50/0	0	

試料採取 深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験 深度(m)	試験名及び結果	削孔 月日
						10/25
						10/26